

岡山操車場跡地整備基本構想

(素案)

概 要

【目次】

1	全体構想(コンセプト)	1
2	操車場跡地全体の方針	1
3	ゾーニング	2
4	各ゾーンの整備内容	4
5	防災機能の導入方針	8
6	整備・管理等の考え方	8

1 全体構想（コンセプト）

新しい岡山の魅力と活力のあるまちづくりを目指し、操車場跡地全体が「庭園都市」のシンボルとなる緑量豊かな空間となり、市民のみならず、広域からも多くの人々が訪れ、交流できる賑わい空間づくりを進めます。

また、緑豊かな空間の中に、人々の安全・安心な暮らしを支える、健康・医療・福祉系都市機能やサービスを備えた環境づくりを進めます。

そして、こうしたまちづくりを進めるにあたっては、市民や事業者、行政など様々な人々が関わり、協働して育てていくことで、その魅力や機能を、将来にわたって維持・向上させることができます。

このような考えに基づき、跡地全体の整備を進めていきます。

全体構想（コンセプト）

「人々が関わることで育まれる都市の森」

2 操車場跡地全体の方針

市民のシンボルとなる水と緑の庭園都市を創造

- ・庭園都市のシンボルとなり、市民が関わり続けながら創り上げていく、環境先進都市の拠点となる森づくりを目指す。
- ・積極的な植樹により、緑のボリュームアップを図り、低炭素社会に向けた取り組みを実現していく。

岡山市の特長と資産を活かしたテーマを持った拠点づくり

テーマ1：（仮）岡山総合医療センターとの連携を核とした「健康」をテーマとした展開

テーマ2：「健康」と「食」に関するイベントや市（いち）の開催

テーマ3：若者たちをターゲットにしたエンターテインメント性のあるイベントの展開

市民との協働による空間・仕組みの創出

- ・市民が積極的に関わりながら都市の森となる各拠点の空間を創出していくことを目指す。
- ・広く地域の福祉・安全安心・生活を支えるエリアマネジメントの創出を目指す

3 ゾーニング

跡地整備にあたり、全体構想、全体方針に基づき、「庭園都市」と「総合福祉」のシンボルとなる整備を進めるため、「総合福祉ゾーン」「交流・防災拠点ゾーン」「生活支援ゾーン」の3つのゾーンに区分し、さらにその中をいくつかのエリアに区分して整備を進めていく。

総合福祉ゾーン【健康の森】

JR北長瀬駅を中心とした区域で、(仮)岡山総合医療センターの立地を活かし、民間活力も活用した健康・医療・福祉系都市機能の立地を促進し、広く市民に貢献できるサービスを展開していく。

(エリア)

健康・医療・福祉の庭
健康増進の庭

交流・防災拠点ゾーン【市民交流の森】

跡地のほぼ中央部分で、緑に包まれた空間の中で、軽スポーツやレクリエーションなどを楽しみ、心身ともに健康増進を図る。

また、広域からのアクセス性に優れた立地や岡山の特長を活かしながら「健康」や「食」に関するイベントや市(いち)の開催、さらに、若者達をターゲットにしたエンターテイメント性のあるイベント等を開催し、にぎわいの創出を図る。

そして、大規模災害時には、広域避難地や救援・復旧の活動拠点、救援物資の受け入れなどが可能な防災拠点の機能を果たす。

(エリア)

にぎわいの庭
おかやまの森
おかやまの広場

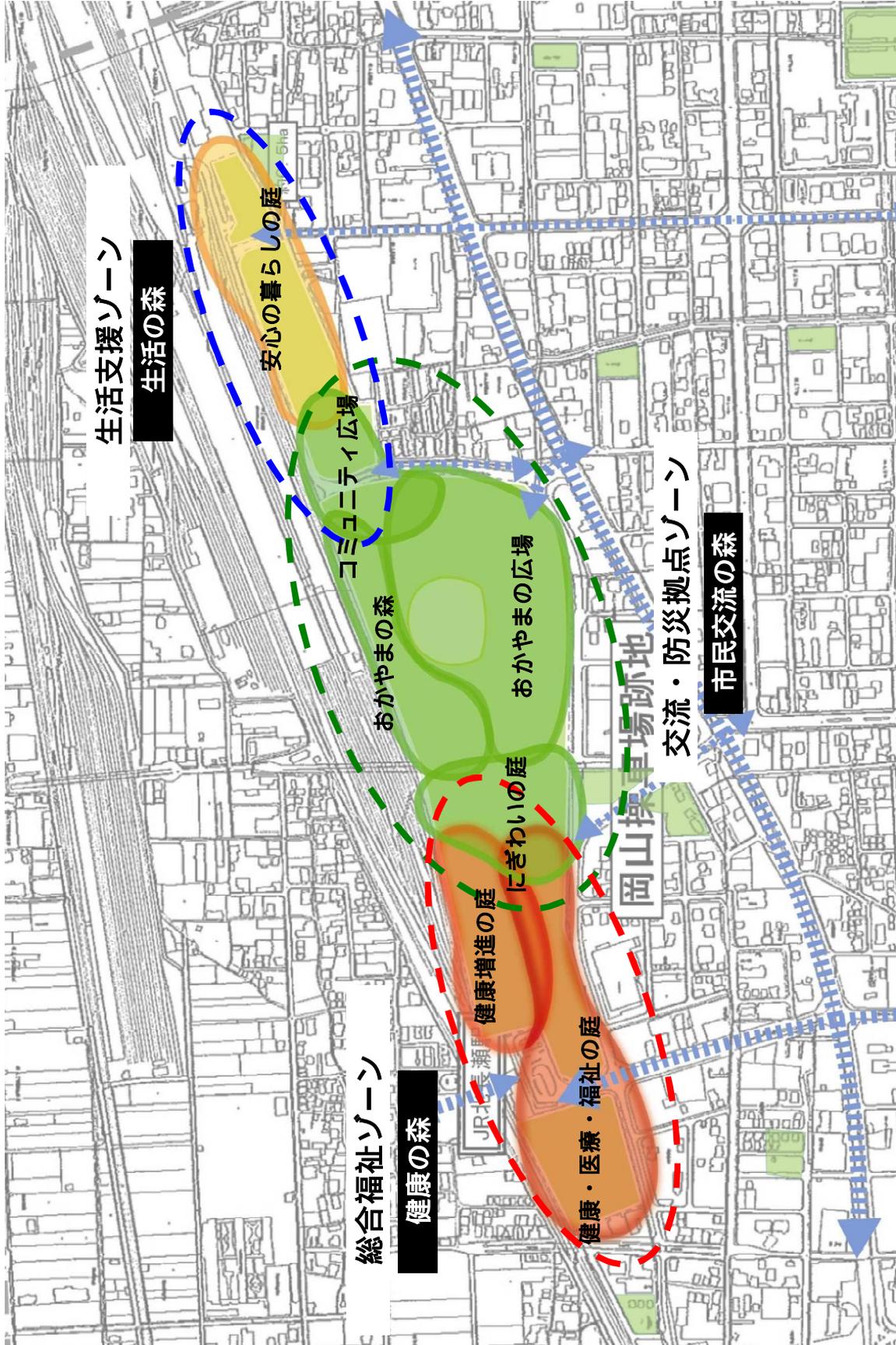
生活支援ゾーン【生活の森】

子どもから高齢者まで安全安心に暮らすことができる子育て支援・高齢者支援・居住機能の導入を図る。

(エリア)

コミュニティ広場
安心の暮らしの庭

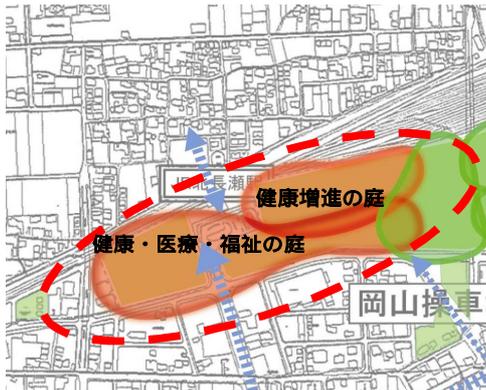
【ゾーン及びエリア区分】



4 各ゾーンの整備内容

総合福祉ゾーン【健康の森】

(仮)岡山総合医療センターの立地を活かし、民間の活力も活用した健康・医療・福祉系都市機能の立地を促進し、広く地域に貢献できるサービスを展開



【整備内容及び想定される導入機能】

- ・医療福祉連携の展開
((仮)岡山総合医療センターの立地)
- ・医療・福祉関連サービス
- ・健康関連サービス
- ・屋外での健康増進サービス

健康・医療・福祉の庭

イメージ

(仮)岡山総合医療センターの立地を活かした健康・医療・福祉系都市機能の導入を図っていくエリア。



健康増進の庭

イメージ

病院利用者や健康増進を求める人たちが、屋外で気軽に散策や体を動かすことができ、健康づくりを行うことができるエリア。

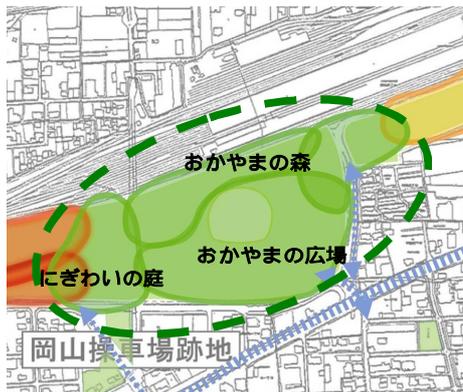


交流・防災拠点ゾーン【市民交流の森】

緑に包まれた空間の中で、軽スポーツやレクリエーションなどを楽しみ、心身ともに健康増進を図る。

また、広域からアクセス性や岡山の特長を活かしながら「健康」や「食」に関するイベントや市（いち）の開催、さらに、若者たちをターゲットにしたエンターテインメント性のあるイベント等を開催し、にぎわいの創出を図る。

そして、大規模災害時には、広域避難地や救援・復旧の活動拠点、救援物資の受け入れなどが可能な防災拠点の機能を果たす。



【整備内容及び想定される導入機能】

- ・ランドマークとなる森
- ・昼も夜も楽しめる飲食サービスの展開
- ・「健康」や「食」をテーマとしたイベントや市（いち）の展開
- ・広大なスペースを活用し、若者たちをターゲットとしたエンターテインメント性のあるイベントの展開

にぎわいの庭

操車場跡地のほぼ中央に位置し、豊かな緑に包まれた空間の中で、音楽やパフォーマンスなどの活動が自由に行われ、また、飲食等のサービス提供もあり、訪れる人々が気軽に楽しめる場。



おかやまの森

跡地のランドマークとなるエリア。緑量のある風景を創出し、環境面での取り組みに対応していく場所とする。



おかやまの広場

緑豊かな開かれた空間の中で、軽スポーツやレクリエーションなどの様々な活動を通じて多くの市民が集い、交流できるエリア。

また、中四国地方有数の都市型多目的広場として、市民や様々な団体によるイベントや岡山の特長を活かした「健康」・「食」に関するイベントなどの定期的な開催、また、ドームとその周辺を一体的に活用し、若者たちをターゲットにしたエンターテインメント性のあるイベント等の開催により、広域からも多くの人を訪れるエリア。

イメージ



イメージ

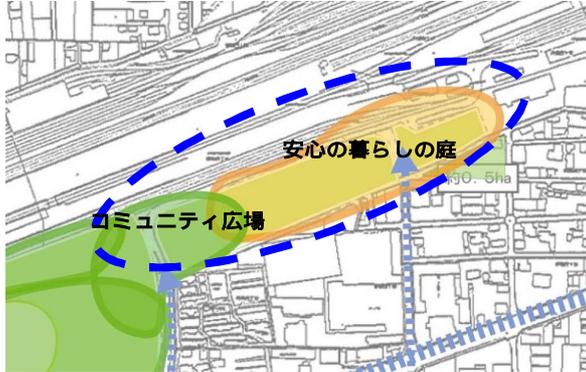


イメージ



生活支援ゾーン【生活の森】

子どもから高齢者まで安全安心に暮らすことができる子育て支援・高齢者支援・居住機能の導入を図る。



【整備内容及び想定される導入機能】

- ・子育て支援機能
- ・高齢者支援機能
- ・居住機能

コミュニティ広場

公園利用者や市民が利用できる花壇や菜園を検討するエリア。市民の積極的参加を期待する場所。



安心の暮らしの庭

子どもから高齢者まで安全安心に暮らすことができる子育て支援・高齢者支援・居住機能の導入を図り、緑豊かな生活環境を提供するエリア。



5 防災機能の導入方針

操車場跡地へ導入する防災機能については、交流・防災拠点ゾーンを中心に、導入機能の検討を行う。

広域避難地機能

大規模災害発生時において、一時避難地や各種避難所にまでも危険が達すると予想される場合に、多くの市民が避難することができる、広域避難地機能の導入を検討する。

【想定される整備内容及び導入機能】

- ・ 避難場所となりうるスペース
- ・ 飲料水確保のための耐震性貯水槽
- ・ 非常用トイレ及び汚水枡
- ・ 輻射熱から避難場所を守る延焼防止効果のある植樹帯

救援・復旧活動拠点機能

大規模災害発生時において、救援・救護活動の支援を可能とする機能の導入を検討する。

【想定される整備内容及び導入機能】

- ・ 災害医療活動支援のための負傷者搬送スペースや救護活動スペース
- ・ 救援物資の集積、分配基地

6 整備・管理等の考え方

操車場跡地の整備にあたっては、全体を統一したコンセプトで整備を行うこととし、その事業主体は市だけでなく民間事業者の参画も視野に入れている。

また、施設等の維持管理にあたっては、基本的には事業主体（市及び事業参加する民間事業者）が行うことが考えられるが、利用者である市民や関係団体等とも協働して管理・運営することにより、魅力ある都市空間を維持していくことが可能と考えている。

そのために、市・市民・事業参加する民間事業者等が連携・協働して、操車場跡地整備及び維持管理を実施する仕組みづくり、エリアマネジメントの導入を検討していく。

（参考）

エリアマネジメントとは（「エリアマネジメント推進マニュアル」より）

地域における良好な環境や地域の価値を維持・向上させるための、住民、事業者、地権者等による主体的な取り組み